

〈はじめに〉

12月の中旬にあった期末試験を無事に終え、イリノイ大学の秋学期が終了しました。秋学期終了後は再びシカゴにある友人宅にお世話になり、クリスマスやNew yearのカウントダウンなど、とても貴重な経験をさせていただいたと思います。本報告では12月の授業内容とWinter break、最後に来学期の授業スケジュールについて報告します。

〈授業〉

ECE110 (Introduction to Electronics)

今月はデータの可逆圧縮に使用されるハフマン符号やデコーディングなど、主にデータ圧縮関連のことを学びました。このあたりの分野に関しては、一度の講義だけで理解することが出来ず、課題も一人だけではこなせなかったため、友人に教えてもらいながら取り組みました。LabではLine-Following Carsを製作し、黒い線に沿って車が走行することを確認しました。稀に、黒い線に沿って走行しないケースがあり時間内にその原因を解決できなかったため、成果物を披露する時間に正しく動作するか不安でしたが、無事に黒い線に沿って走行したため一安心でした。友人によるとFinal TaskではLine-Following Carsを作製することが主流らしいですが、私のラボセクションではLine-Following Carsを作製した学生は2割ほどで、LEDの光の点滅をArduinoで制御し音楽に合わせてきれいな光のイルミネーションを披露した学生やラジオを作製した学生など、様々な種類の成果物を見ることができ、どの学生の成果発表もすごく興味深かったです。この科目の成績に関しては、三回目の小テストと期末テストは8割ほどだったため、単位は取得できていると思います。

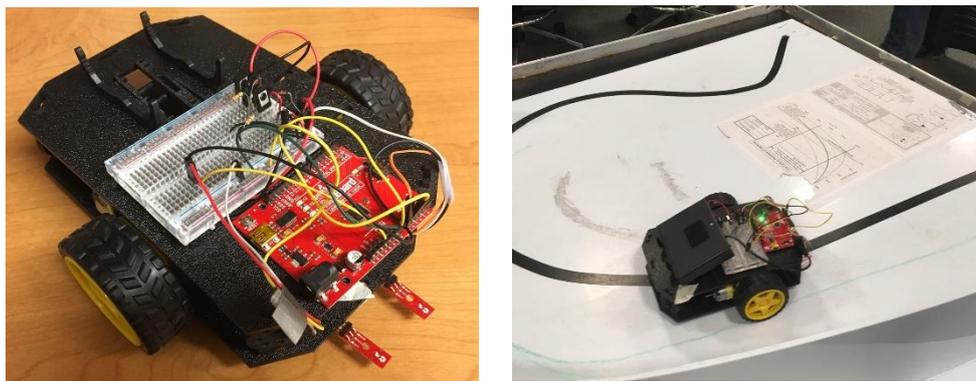


図 1. Line Following Cars

ECE304 (Photonic Devise)

前回の報告書で述べたように、最近、課題を1人でこなせなくなってきたため、12月中に何度かオフィスアワーを利用しました。英語が上手でない私にも担当の先生は私が理解するまで丁寧に教えてくれたと思います。学会発表で忙しい中、貴重な時間を割いてくださりとても感謝しています。オフィスアワーを利用したおかげで、3回目の小テストは7割、期末テストは8割の点数を取ることが出来き、どちらも6割以上の点数だったのでこの結果に満足です。余談ですが、その先生は仕事で何度か日本を訪れたことがあるらしく、とても日本が大好きだとおっしゃっていました。期末試験終了後には先生のほうから私に話しかけてくださり、日本の観光名所のことで盛り上がりました。金沢の観光名所を紹介すると、今度は金沢を観光するとおっしゃってくださり、その際は是非案内してほしいと頼まれました。このクラスを履修する前は300レベルということで少し不安もありましたが、このクラスを履修してすごく良かったです。

PHYS212 (Elec&Mag)

こちらのクラスは12月に入ってからレクチャーが2回しかなく、高校の物理で学習した光の屈折に関することを主に学び終了しました。12月の月上旬に3回目の小テスト、中旬に期末試験があり、中間試験が無かったため、期末試験の範囲がとても広く、この科目に最も多くの時間を費やしたと思います。また、予定では試験は朝8時開始だったのですが、テストを受ける学生が400名ほどいたせいか、予定よりも30分遅れてから試験が始まりました。テストの結果は小テストが6割、期末テストが7割ほどでした。

CMN101 (Public Speaking)

4回目と5回目の口頭発表がありました。4回目の発表では説得技法のひとつであるアラン・モンロー式説得法を用いることが要求されました。これは、①アテンション（注目）→②ニーズ（必要性／問題点）→③ソリューション（解決策）→④ビジュアライゼーション（視覚化）→⑤アクション（行動）、という流れでスピーチを構成し、聴衆に自身の呼びかけを納得してもらい行動を促すものです。私はCoffeeNapが勉強の効率上昇につながることを説明し、勉強に集中できない際はコーヒーを飲み20分のNappingをとることを促しました(6分程度の発表でした)。今回の発表では原稿を覚えることはせず、発表の流れが記載されているOutlineを見ながら発表に望みました。決して良い発表だったとはいえませんが、特に目立ったミス等は無かったと思うので良かったと思います。5回目の発表は相手を賞賛する発表でした。2分程度の発表だったため特に苦戦せず、発表終了後には先生から生徒一人ずつにドーナツが配られました。このクラスを履修して少しは英語でのプレゼン能力が向上したと思います。

<Winter Break>

秋学期が終了してから再びシカゴにある友人宅に10日間ほどお世話になり、クリスマスやNew yearを祝うパーティ、スキーやショッピングなど様々な経験をさせていただきました。また、-15℃という極寒の夜に外で友人と一緒にアイスを食べたことは今でも印象に残っています。さて、今回は特に印象深かった24日と25日の出来事について報告します。

24日のクリスマスイブには家族で軽い夕食をとった後、教会に訪れ礼拝をしに行きました。友人の家族はポーランド出身で、夕食の前に、oplatki(オブワテック)と呼ばれる白くて薄いせんべいのような物が一人一人に配られ、相手のoplatkiを割り、健康や勉強または仕事の成功を祈った後、それを口にするというポーランドの伝統行事を体験させていただきました。また、その日は伝統的に肉を食べないことになっていて、主に魚料理を食べました。その後、家族の方と一緒に教会に訪れ、子供たちによる合唱や牧師のスピーチを聞き、中々日本では体験できないことを経験することが出来たと思います。想像していたよりもとても大きな教会で、たくさんの人たちが教会に訪れていました。牧師の方が何を言っているのかあまり分かりませんでした。キリスト教徒の方にとってクリスマスはとても重要な日であると肌で感じました。その後、家族の友人宅で開かれたクリスマスパーティに参加させていただき、キューバ料理やお酒を堪能した後、最後にWhite Elephantと呼ばれるプレゼント交換をしました。White Elephantとは参加者全員がラッピングされたプレゼントを持ち寄り、順番にプレゼントを選び中身を確認した後、そのプレゼントを保持、もしくは他人のプレゼントと交換するという、プレゼントの争奪戦のようなゲームです。そのため、回ってくる順番が遅いほうがより多くの中からどのプレゼントをゲットするか選べます。私は運よく25人中23番目だったため、意中していたプレゼントをいただくことが出来ました。このクリスマスパーティではたくさんの方たちとお話することが出来たと思います。パーティで知り合った学生に私が今の英語力に自信がないことを伝えると、2ヶ国語を話すことは難しいし、英語があまりできないのにもかかわらず、母国語で

はない言語を用いて見知らぬ土地で生活することはとても勇気がいることだから、もっと自信を持っていいと思うと励まされました。そういったこともあってこのパーティに参加できて本当に良かったと思います。余談ですが、小さい子供がいる家庭では、サンタさんが家に来てくれるように、子供に人参と牛乳、そしてクッキーを24日の夜に準備させるそうです。



(a) oplatki



(b) 訪れた教会



(c) White Elephant



(d) サンタさんのためのお供え物

図 2.24 日のクリスマスイブ

25日の朝、友人の父親から家族全員にクリスマスプレゼントが渡されました。ほとんどのお宅では24日までにクリスマスツリーのそばにプレゼントを置き、25日に開封するらしく、今回お世話になるお礼として Japan House (UIUC のキャンパス内にある施設) で購入したプレゼントを持ってきたので、私も一緒にクリスマスツリーのそばに置きました。私は「クリスマスプレゼントは1人1個」だという固定概念をもっていたのですが、こちらではそうではなく、1人に対して5~10個程渡すことが一般的らしく、とても驚きました。また、家族の方がわざわざ私の分のクリスマスプレゼントまで用意してくださり、マフラーやコップ、お菓子などを頂きました。プレゼントを開ける際、何が入っているのかワクワク感を感じることができるため、何個ものプレゼントを用意することは子供にとってとてもいいことだなと思います。夜は家族だけで夕食をとり、巨大なハムをたくさん食べさせていただきました。



図3. 25日のクリスマス

これらの出来事は私にとって、とても貴重な経験だったと思いますし、友人とその家族の方、そして家族の友人の方たちにはとても感謝しています。

〈春学期の時間割〉

私は春学期に以下の6つの授業を履修しました。

- PHYS214 Quantum Physics (2 単位)
- ECE329 Field and Waves (3 単位)
- ECE340 Semiconductor Electronics (3 単位)
- ECE441 Physcs & Modelling Semiconductor Dev (3 単位)
- CMN211 Business Communication (3 単位)
- KIN104 Skating Activities (1 単位)

表. 春学期の授業スケジュール

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9am	Bussines Communication 9:00-9:50		Bussines Communication 9:00-9:50		Bussines Communication 9:00-9:50
10am	Physcs & Modelling Semiconductor Dev 10:00-10:50		Physcs & Modelling Semiconductor Dev 10:00-10:50		Physcs & Modelling Semiconductor Dev 10:00-10:50
11am	Quantum Physics 11:00-11:50		Quantum Physics 11:00-11:50		Quantum Physics 11:00-11:50
12pm	Semiconductor Electronics 12:00-12:50		Semiconductor Electronics 12:00-12:50		Semiconductor Electronics 12:00-12:50
2pm	Field and Waves 2:00-2:50	Quantum Physics Discussion 2:00-3:50	Field and Waves 2:00-2:50	Quantum Physics Lab 2:00-3:50	Field and Waves 2:00-2:50
3pm					

秋学期に比べてものすごく偏った時間割になってしまいました。履修した授業の数は多いですが、PHYS214 と KIN104 は春学期間常にか講するのではなく、前半(1月16日～3月2日)に

PHYS214の授業があり、後半(3月12日～5月2日)はPHYS214のディスカッションとラボの時間帯にKIN104があります。また、春学期は修士研究にも取り組もうと考えているため、400番台のクラスについていけるようであればECE329はドロップする予定です(最低12単位以上履修する必要があり、400番台のクラスについていけないようであればECE441をドロップしてECE329を継続する予定です)。

〈おわりに〉

12月は今までの留学生活の中で最も濃い生活を送ることが出来た月でした。様々な経験を体験することが出来ましたが、私の英語力はそこまで成長していないように感じます。6ヶ月もアメリカで生活すれば英語がペラペラになるだろうと思っていましたが、全くなってないですね。聞き取れないことも多々あります。そのため、来学期からは英語の勉強>授業>修士研究>イベントという優先順位で生活していこうと思います。因みに、秋学期はイベント>授業>英語の勉強>修士研究という優先順位で生活していたと思います

Winter breakはまだ2週間ほど残っているため、残りの期間は私と同様に本学の交換留学プログラムを利用してアメリカに留学している友人と一緒にラスベガスやロサンゼルス等を旅行する予定です。久しぶりに再会するので、お互いの近況を話し合うのが楽しみです。

12月分の報告は以上です。